

令和8年度 生路小学校教育目標

1 本校の教育目標

人と自然を愛し、心身ともにたくましく、主体的に学び、考え、行動できる子の育成

校訓	目指す児童像	
明るく	明るいあいさつと返事のできる子	自然を愛し、思いやりの心をもった子
強く	深く考え、粘り強く実行する子	生命を大切にし、たくましく生きる子
進んで	仲よく助け合い、進んで働く子	自ら学び、考えを進んで発表できる子

2 経営方針

全教職員が教育者としての使命を自覚し日々研鑽に努め、協力して、人間として調和のとれた児童の育成を目指す。

ア 児童が安心して通える学校づくりの推進

- ウェルビーイングの向上（自己肯定感・自己実現・協働性・多様性への理解）
- 生徒指導の3機能（自己存在感・共感的人間関係・自己決定の場）を生かした教育
- 教育環境の充実（児童の活動に即した環境・安全な学習環境）

イ 確かな学力の育成

- 個別最適な学びを取り入れた授業改善と、基礎基本の確実な定着
- 未来を生き抜くために必要な資質・能力の育成
- 自己教育力を高めさせるための、振り返りの充実と家庭学習の習慣づくり

ウ 豊かな心と健康でたくましい体の育成

- 人を思いやる力と、あいさつ・返事・整理整頓
- 読書活動の充実
- 運動の楽しさの実感と外遊びの奨励、食育の充実

エ 信頼される頼もしい教職員集団の確立

- 現職教育、研修会の充実による、実践的で具体的な指導力の向上
- 少経験者研修等を通しての学級経営力、授業力の向上

オ 開かれた学校づくりの推進

- 家庭・地域への適切な情報発信
- 家庭・地域の教育力と地域人材の活用（コミュニティ・スクールの推進）

カ 社会の変化に対応する教育の推進

- 情報モラル教育・キャリア教育・プログラミング教育・SDGsに関連する教育の推進

3 重点努力目標

一人一人を大切にし、資質・能力の向上を目指す教育の実現

- 児童の興味や個性を尊重し、学びの意欲を引き出すよう、個に応じた指導・支援を行い、個の資質・能力の向上と、主体的に学びに向かう姿を実現する。
- 確かな教材理解に基づくカリキュラム・指導の工夫等により、深い学びを実現する。
- 個別最適な学びを可能にする授業展開の工夫や、タブレット端末の効果的な活用等により、「わかる、できる、学びたくなる」授業を実現する。
- 教師・保護者・地域が連携し、児童が他者との関係性を深める中で、ウェルビーイングを高める。

働き方改革にかかる業務改善の推進

- 校務分掌の最適な配置、教育活動全般の効率化をさらに推進し、教職員のウェルビーイングの向上を図る。